

特定処遇改善に向けた取り組みについて

社会福祉法人つつみ会では、介護職員の継続的育成と定着を目的に以前からキャリアパス制度を導入しており、処遇改善加算Ⅰを取得するなど介護職員の処遇改善に積極的に取り組んでいます。職員個々の経験や資格取得等のスキルアップをすることがサービス提供の質向上に繋がり、その実績評価が給与や待遇に適切に反映されることを見える化し、個人目標を設定しやすくしています。職員のモチベーション向上を目的に、以下に示す施策を講じる事で、この度「特定処遇改善加算(Ⅰ)」を取得致しました。

資質の向上について

- ①働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援（研修受講時の他の介護職員の負担を軽減するための代替職員確保を含む）
- ②研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動

労働環境・処遇の改善

- 1.雇用管理改善のための管理者による労働・安全衛生法規、休暇・休職制度等の雇用管理改善対策の充実
- 2.介護職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護ロボット(監視システム)やICTを導入等の各種機器等の利用を推進
- 3.子育てや介護等、家庭と労働の両立を目指す者のための看護・介護、育児休業制度等の規則の充実
- 4.ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による職員個々の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善
- 5.事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成による責任の所在の明確化
- 6.健康診断・こころの健康等の健康管理面の強化を推進

その他

- ① 介護サービス情報公表制度の活用による経営・人材育成理念の見える化

- ② 中途採用者（他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等）に配慮した人事制度の確立（勤務シフトの配慮）
- ③ 地域の児童・生徒や住民との交流による地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上
- ④ 非正規職員から正規職員への転換を推進